

恒例の境町アルゼンチンの日開催

藤田 悟郎・伊藤 誠

令和元年 11 月 30 日（土）、遠くに富士山をくっきりと眺められる快晴の下、茨城県境町長田小学校に於いて、駐日アルゼンチン大使 アラン・ベロー閣下、マティアス・ハビーノ公使をお迎えして、恒例の第 31 回「アルゼンチンの日の集い」が開催されました。



主催者として境町橋本町長以下教育関係者、野口校長以下長田小関係者、PTA・父兄の方々、来賓として県議会議員並びに町議会議員の皆様など、土曜日開催も奏功し関係者総出の盛大なイベントとなりました。

全校児童が参加し、6年生の大正琴「さくら」の演奏による入場式に始まり、アルゼンチン共和国と境町（長田小学校）の交流の歴史、そして、今年 10 月に境町の他校も加えた児童 13 名を含む計 22 名が参加した「アルゼンチン共和国派遣事業」の報告、合唱曲の発表やプレゼントの交換等が行われました。



握手入場で応えるベロー大使



筆者 藤田



「にこやかなご挨拶」、右は橋本町長



その後2年生の「おみこしわっしょい」の声援に送られて体育館から会場を移し、大使とのQ&Aも含めた児童たちとの交流給食を経て、学級発表が展示されている各教室を訪れ、楽しい時間を過ごしました。

ベロー大使、ハビーノ公使のお二人も教室全てを訪れ、ゲームを楽しみ展示物をご覧になる等児童たちと直に触れ合う交流の時間を過ごされ、お別れの言葉に見送られながら長田小学校を後にしました。

アルゼンチンと境町と長田小学校の長い交流の歴史と深く強い絆を改めて確認することが出来ました。この素晴らしい恒例イベントを支えられている境町はじめ関係各位と長田小学校の児童の皆さんに敬意を表します。

写真ご提供：茨城県境町

(ふじた ごろう：当協会業務執行理事)

(いとう まこと：当協会業務執行理事)